

R

MERCHANDISE SALES DATA PROCESSOR

Patent Number: JP10031792

Publication date: 1998-02-03

Inventor(s): SANEISHI HIRONOBU

Applicant(s):: TEC CORP

Requested Patent: JP10031792

Application Number: JP19960204163 19960716

Priority Number(s):

BEST AVAILABLE COPY

IPC Classification: G07G1/12

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a merchandise sales data processor without necessitating a fund-raising management and a work to frequently refill change.

SOLUTION: An amount of fund-raising is inputted with a ten key 2 (amount input means) based on a customer's request for fund-raising and when the amount of fund-raising is summed up by a fund-raising key 19 (amount of fund-raising sum-up means), a drawer 6 is opened and the amount of fund-raising summed up by a storage memory is simultaneously displayed on display devices 5a, 5b (output means) by an instruction of a sum-up key 21 (output instruction means).

Simultaneously, the fund-raising amount is printed on a journal sheet with an R/J printer (output means).



Data supplied from the esp@cenet database - I2

TOP

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-31792

(43) 公開日 平成10年(1998)2月3日

(51) Int.Cl.⁶

G 07 G 1/12

識別記号

3 4 1

府内整理番号

F I

G 07 G 1/12

技術表示箇所

3 4 1 A

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全7頁)

(21) 出願番号

特願平8-204163

(22) 出願日

平成8年(1996)7月16日

(71) 出願人

000003562

株式会社テック

静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(72) 発明者

実石 浩伸

静岡県田方郡大仁町大仁570番地 株式会

社テック大仁事業所内

(74) 代理人

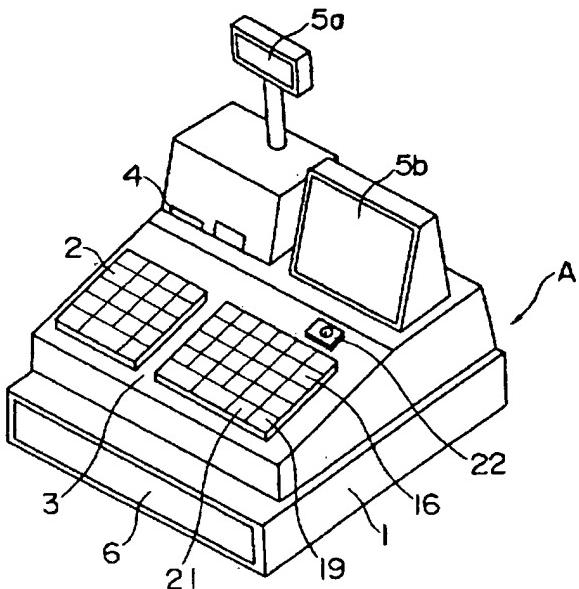
弁理士 峰 隆司

(54) 【発明の名称】 商品販売データ処理装置

(57) 【要約】

【課題】 この発明は募金の管理と、釣銭の頻繁な補充作業をなくした商品販売データ処理装置を提供することにある。

【解決手段】 客からの募金要請に基づいて、テンキー2(金額入力手段)で募資金額を入力し、募金キー19(募資金額累計手段)により募資金額が累計された際、ドロワ6を開放するとともに格納メモリで累計された募資金額を累計キー21(出力指示手段)の指示により表示器5a, 5b(出力手段)に表示させるとともにR/Jプリンタ(出力手段)によってジャーナル用紙に印字するようにした商品販売データ処理装置。



【銀鹽交換券之大綱手稿】乙丙類明主上記事請以鑄
為本公司之印、請求具上記載之範例、大公司之大
取引商品之商標或公司名稱之商標、本公司之會計金
理專員之名、前記兩品之商標或署註於乙合計金
額之算出上、務為詳盡之大公司之大客力之預力。金

【0008】本發明對上述事情之鑑定，小錢不足
25
113問題本院審理上已作明白，簡單為操作鑑定金
鑑定器具之問題亦已作明白，簡單為操作鑑定金

（說明力解決不了的問題）上課的學生比能來的商店
販賣若干種理裝置（如商品販賣機理等）進行聯合
開發研究，一方客小錢的費用不復是（其資金等效為
開發力）。

【0006】其次、店舗にてお届けの金額を5円
便宜算等の小額分類額は便りに記入し、金額不足分を
算出する方法が最も効率的である。金額不足分を
算出する方法は、金額不足分を算出する方法と
算出する方法がある。

（0004）東九、北客棧、D&E二工段、入小刀等處
算頭物處之鋼鐵索要件取回，其布內之小鐵力多
數之鐵索所定金銀之店用意尤甚，每根之價
已上之，其金索行之多才為之不力，在此。
以是、客力要件取回，金銀之店用意尤甚，器
數金銀之店用意尤甚，其金索行之多才為之不
已上之，其金索行之多才為之不力，在此。
數金銀之店用意尤甚，其金索行之多才為之不
已上之，其金索行之多才為之不力，在此。
數金銀之店用意尤甚，其金索行之多才為之不
已上之，其金索行之多才為之不力，在此。
數金銀之店用意尤甚，其金索行之多才為之不
已上之，其金索行之多才為之不力，在此。

〔0003〕 2003年3月金錢の取引を力行すればどうぞ、
金錢(1社) 丹誠算字5丹誠算の上に御効力なり、金錢の算盤
2支(1小枝) 力多々(便り)を乞う乞う乞う乞う乞う乞う
力費生有る乞う乞う乞う乞う乞う乞う乞う乞う乞う
支(1大枝) 本手(1手)に一財物錢不足
支(1大枝) 金錢の算盤の上に御効力なり、金錢の算盤
力費生有る乞う乞う乞う乞う乞う乞う乞う乞う
支(1大枝) 本手(1手)に一財物錢不足

盈餘專戶之餘額、盈餘之數額及各項應收賬款累積額之合
計金額之計算出後、轉為操作時之人力之核算能力之預算
力金額為多少之計算出後、即為操作能力之預算出後之客
戶數、即為操作能力之取用率出後之客

【從來不技術】原來，電子手冊上已經說得很清楚了，POS機未等商品脫離光子力處理裝置之後，人力訖此必需另外購入才可各自商品。商品离开光子力處理裝置之後，才能加入商品。

(0001)【說明】詳細說明
（說明）屬才子佳人分野】本義明志、金鏡的授受之行
大時代、商品的一力的發展及出版業的一力管理等を行ふ
商品販売の一力地理裝置化圖才矣。

【請求事項3】 人力資源部門商品の商品価格を含む商品一物につき金額を算出するための計算処理方法

臺灣金錢銀出手指示手稿乙、
乙〇臺灣金錢銀出手指示手稿〇指示乙〇

（請求項2）請求項1記載の照明器具、前記導體X及び導體Yの出力端子間の導線を構成する導線部、前記搭載X及び搭載Yの導線部の接続端子を構成する接続端子部、前記導線部X及び導線部Yの接続端子部を構成する接続端子部、前記導線部X及び導線部Yの接続端子部を構成する接続端子部、前記導線部X及び導線部Yの接続端子部を構成する接続端子部。

（1）導入導出：導入導出是將數據從一個應用程序或文件轉移到另一個應用程序或文件的過程。這裏的「導入」指將外部數據文件（如文本文件、Excel 工作簿等）複製到 Access 中；「導出」則指將 Access 中的數據存儲為外部文件格式。

【請求項1】 人力芝ナ太取引商品の商品価格を含む商
品等一覧表基づいて算出する算出装置、前記商品の
商品価格を累計して合計金額を算出する、該算出時
間内に客の操作力と算出能力とが同一算出装置に
付けるための算出装置の構成を有する計算機と、
該算出装置から算出される算出結果を表示する表示
装置と、該算出装置と該表示装置との間に接続す
る接続部とを備え、該接続部は該算出装置と該表示
装置との間で算出結果を送り受けする。

額から前記合計金額を減算して釣銭を算出して表示器に表示するとともにドロワを開放する商品販売データ処理装置において、累計募資金額を格納する格納メモリと、募資金額を入力する金額入力手段と、この金額入力手段から入力された募資金額を一時的に格納する募資金額メモリと、この募資金額メモリに格納された募資金額を前記格納メモリに格納された累計募資金額に加算し累計募資金額を更新する募資金額累計手段と、この募資金額累計手段により累計募資金額が更新されたことを条件としてドロワを開放するドロワ開放手段と、前記累計募資金額の格納メモリへの出力を指示する出力指示手段と、この出力指示手段の指示に依って、前記格納メモリに累計募資金額を出力する累計募資金額出力手段とを備えた商品販売データ処理装置である。

【0010】また、請求項3記載の発明は、入力された取引商品の商品価格を含む商品データに基づいて登録処理するとともに、前記商品の商品価格を累計して合計金額を算出し、締め操作時に入力された客からの預かり金額から前記合計金額を減算して釣銭を算出して表示器に表示するとともにドロワを開放する商品販売データ処理装置において、金額入力手段により募資金額を入力し、出力指示手段の指示により前記募資金額が格納メモリに格納されていた累計募資金額と加算し、累計募資金額が更新されたことを条件としてドロワが開放され、前記更新された累計募資金額を出力処理するようにしたことを特徴とする商品販売データ処理装置である。

【0011】上記のように請求項1及び請求項3記載の発明は、金額入力手段によって入力された募資金額は、格納メモリに格納されている累計募資金額に加算され、この累計募資金額を出力指示手段の指示により、累計募資金額出力手段によって出力することから、ドロワ内に募金を収納しても、いつでも累計された募資金額を確認することができ、従ってドロワ内で累計募資金額と現金取引の金種とが混在しても募資金額分を区別することができるため、募金分を釣銭として使用することを可能とする作用を有する。また、募金の安全な管理ができるという作用も有する。

【0012】また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、前記募資金額メモリに記憶された前記募資金額の出力を指示する募資金額出力指示手段と、この募資金額出力指示手段の指示に依って、レシート用紙及びジャーナル用紙への印字を実行する募資金額印字手段とを備えた商品販売データ処理装置としたものである。

【0013】このように構成した請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明の作用に加えて、金額入力手段によって入力された募資金額は、募資金額出力指示手段の指示により募資金額印字手段が作動し、募資金額はレシート用紙及びジャーナル用紙に出力されることから、客は募資金額をレシート用紙により確認でき、募金の内

訳を確実に把握できるという作用を有する。

【0014】

【発明の実施の形態】本発明を商品販売データ処理装置としての電子キャッシュレジスタに適用した場合の実施の形態を図1乃至図5を参照して説明する。図2は電子キャッシュレジスタAの外観図である。電子キャッシュレジスタAは本体1と、金額入力手段であるテンキー2等各種キーを含むキーボード3、レシート用紙に登録された商品の名称と単価が商品毎にR/J(レシート/ジャーナル)プリンタで印字されたレシートを発行する発行口4、金額等を表示するキャッシャー用及び客用の表示器5a, 5bおよび各金種の紙幣、貨幣を収納するドロワ6等から構成されている。

【0015】つぎに、図1は電子キャッシュレジスタAのハードウェア構成を示すブロック図である。図1において、各種の処理を行うCPU(セントラル・プロセッシング・ユニット)7はキーボード3に配設された各種入力キーから入力された各種データに対して演算処理を実行するとともに各周辺機器にデータあるいはコマンドを送信する。このCPU7にはアドレスバス、データバス、制御線からなるバスライン8を介して各種の制御プログラムを格納したROM(リード・オンリー・メモリ)9、各種のデータを記憶するRAM(ランダム・アクセス・メモリ)10、キーボード3を制御するキーボードコントローラ11、表示器5a, 5bを制御する表示コントローラ12、R/Jプリンタ13を制御するプリンタコントローラ14、ドロワ6を開放するために図示しない公知の施錠手段の施錠を解除するドロワコントローラ15が接続されている。なお、このドロワコントローラ15と前記図示しない施錠手段とはドロワ開放手段を構成するものである。

【0016】つぎに、図3は電子キャッシュレジスタAのキーボード3のキー配置図である。キーボード3には金額等の数値を入力するための金額入力手段であるテンキー2、商品の部門を入力するための部門キー16、登録商品の合計を表示させる際に操作する小計キー17、釣銭を計算し、レシートを発行し、ドロワ6を開放するトリガとなる締めキー18、前記テンキー2による募資金額の入力につづいて操作する募資金額出力指示手段としての募金キー19、後述する格納メモリ20に累計されている募資金額を累計募資金額出力手段としての表示器5a, 5bへの表示の指示、あるいは累計募資金額出力手段としてのR/Jプリンタ13によってジャーナル用紙への印字の指示をする出力指示手段としての累計キー21等が配置されている。なお、図3において22は、精算、登録、点検の各種モードを選択切り換えをするモード切換スイッチである。

【0017】図4はRAM10内の主要なメモリの構成である。RAM10は、各商品にそれぞれ付された商品コードに対応して該当の品名、単価等がプリセットされ

る商品ファイル23とともに、客から募金された募資金額を一時的に格納する募資金額メモリ24、レシート用紙及びジャーナル用紙に印字するデータを一時記憶するR/Jプリントメモリ25、客から募金された募資金額の全てを累計格納する格納メモリ20等が形成されている。

【0018】図5は本実施の形態の処理を示すフローチャートである。まず、ステップ(以下ST)1でテンキー2の打ち込みにより金額が入力されるとST2で表示器5a, 5bに金額が表示され、その後ST3で募金キー19が押下されたか否か判断し募金キー19でなければST4で通常の取引つまり商品登録処理が行われる。

【0019】ST3での判断結果、募金キー19が押下された場合はST5で募資金額を募資金額メモリ24に格納する。続いてST6で前記募資金額メモリ24から読みだされ、R/Jプリントメモリ25に一時格納された募資金額を募資金額印字手段としてのR/Jプリント13によりレシート用紙及びジャーナル用紙に印字される。ついで、ST7で募資金額累計手段である格納メモリ20に収納されている累計募資金額に前記募資金額メモリ24に記憶されている募資金額を加算して累計募資金額を更新し、これを前記格納メモリ20に格納する。そして更新した累計募資金額が格納メモリ20に格納されると、ST8でCPUの制御によってドロワコントローラ15が制御され図示しない施錠手段が解除されドロワ6は開放される。

【0020】また前記ST1でテンキー2の打ち込みでないと判断されると次にST9に進む。ST9では累計キー21が押下されたか否かが判断され、累計キー21でないと判断された場合はST1に戻る。お店が募資金額の確認やボランティア団体へ募金を渡す際に、ドロワ6内で混在している募資金額と現金取引の金種とを分けるために、累計キー21を押下すると、ST10でRAM10内の格納メモリ20内に累計されていた累計募資金額が読み出され累計募資金額出力手段である表示器5に累計募資金額が表示される。その後、ST11で同様に累計募資金額出力手段であるR/Jプリント13により累計募資金額がジャーナル用紙に印字される。

【0021】次にこの実施の形態の動作を説明する。客から募金の要請があった際に、その募金をキャッシュヤーが受け取り、キーボード3のテンキー2から前記募資金額を打ち込むことでその募資金額が表示器5a, 5bに表示される。表示器5bに表示された募資金額を客が確認したのち募金キー19を押下すると、募資金額メモリ24に募資金額が格納され、また、この募資金額はR/Jプリントメモリ25に読みだされR/Jプリント13により、募資金額が図6に示すようにレシート用紙とジャーナル用紙に印字される。そして、募資金額が累計募資金額に加算されて格納メモリ20に格納つまり更新されるとドロワコントローラ15により施錠が解除され

ドロワ6が開放され募金をドロワ6内に収納することができる。

【0022】このように本実施例によれば、募金キー19を押下することで募資金額がレシート用紙及びジャーナル用紙に印字されることから、お客様にレシート用紙として募金結果を知らせることができる。

【0023】また、累計された募資金額データを確認したい場合やボランティア団体に募資金額を渡す時に、累計キー21を押下により格納メモリ20に累計募資金額を表示器5a, 5bに表示させ、あるいは図7に示すようにジャーナル用紙に印字させることにより確認することができる。

【0024】このように、格納メモリ20に累計された募資金額が確認できることから、ドロワ6内に募資金額を収納するようにもしても、元々商品販売取引に使用するために収納されていた金額と、募資金額と同じドロワ6内に収納しても、格納メモリ20に累計された募資金額を差し引くことで明確に区分することができるため、両者を混在させても問題がないことから、釣銭金額として頻繁に引き出される1円硬貨や5円硬貨のような小銭を募金された募金で賄えることにより、頻繁な釣銭の追加補充をすることなく、釣銭切れを防ぐことが可能である。

【0025】なお、本実施例では電子キッシュレジスターで募金登録を行うことを示したが、POSターミナルを用いて募資金額をボランティア団体等の団体の端末機とオンライン接続することで、募金登録を行えるような構成にしてもよいことは言うまでもない。その他、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々変形実施可能である。

【0026】

【発明の効果】以上、請求項1の発明によれば、募資金額を入力する金額入力手段と、この金額入力手段により入力された募資金額を格納メモリに収納された累計募資金額に新たに累計する募資金額累計手段と、累計募資金額の出力を指示する出力指示手段の指示に基づいて、前記格納メモリに収納された累計募資金額を累計募資金額出力手段により出力できることから、募資金額と現金取引の金種とを混在してドロワ内に収納しても、募資金額分を区別することができるため、募資金額を釣銭として使用可能であるから、釣銭不足が解消され不足した釣銭を補充するという煩雑な作業をなくした商品販売データ処理装置を提供できるものである。また、募金の安全管理ができるものである。

【0027】また、請求項2の発明によれば、請求項1記載の発明の効果に加え、前記金額入力手段により入力された募資金額の出力を指示する募資金額出力指示手段と、この募資金額出力指示手段の指示に従って、前記募資金額をレシート用紙及びジャーナル用紙に印字させる募資金額印字手段とを備えたことにより、募金結果を客に知らせることができるとともに募金の内訳を確実に把

握することができる。

【0028】請求項3の発明によれば、金額入力手段により募資金額を入力し、出力指示手段の指示により前記募資金額が格納メモリに格納されていた累計募資金額と加算し、累計募資金額が更新されたことを条件としてドロワが開放され、前記更新された累計募資金額を出力処理するようにしたので、募資金額と現金取引の金種とを混在してドロワ内に収納しても、募資金額分を区別することができるため、募資金額を釣銭として使用可能であるから、釣銭不足が解消され不足した釣銭を補充するという煩雑な作業をなくした商品販売データ処理装置を提供できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の商品販売データ処理装置のハードウェア構成図である。

【図2】本発明の商品販売データ処理装置の外観図である。

【図3】本発明の商品販売データ処理装置のキーボードのキー配列を示す図である。

【図4】本発明で使用する主要なメモリ構成を示した図である。

【図5】本発明の商品販売データ処理装置の処理を示す

フローチャートである。

【図6】本発明の募資金額の印字例を示したレシートの図である。

【図7】本発明の累計された募資金額の印字例を示したジャーナル用紙の図である。

【符号の説明】

A 電子キャッシュレジスタ（商品販売データ処理装置）

1 本体

2 テンキー（金額入力手段）

5 a 表示器（累計募資金額出力手段）

5 b 表示器（累計募資金額出力手段）

6 ドロワ

13 R/Jプリンタ（累計データ出力手段、募資金額印字手段）

15 ドロワコントローラ（ドロワ開放手段）

19 募金キー（募資金額出力指示手段）

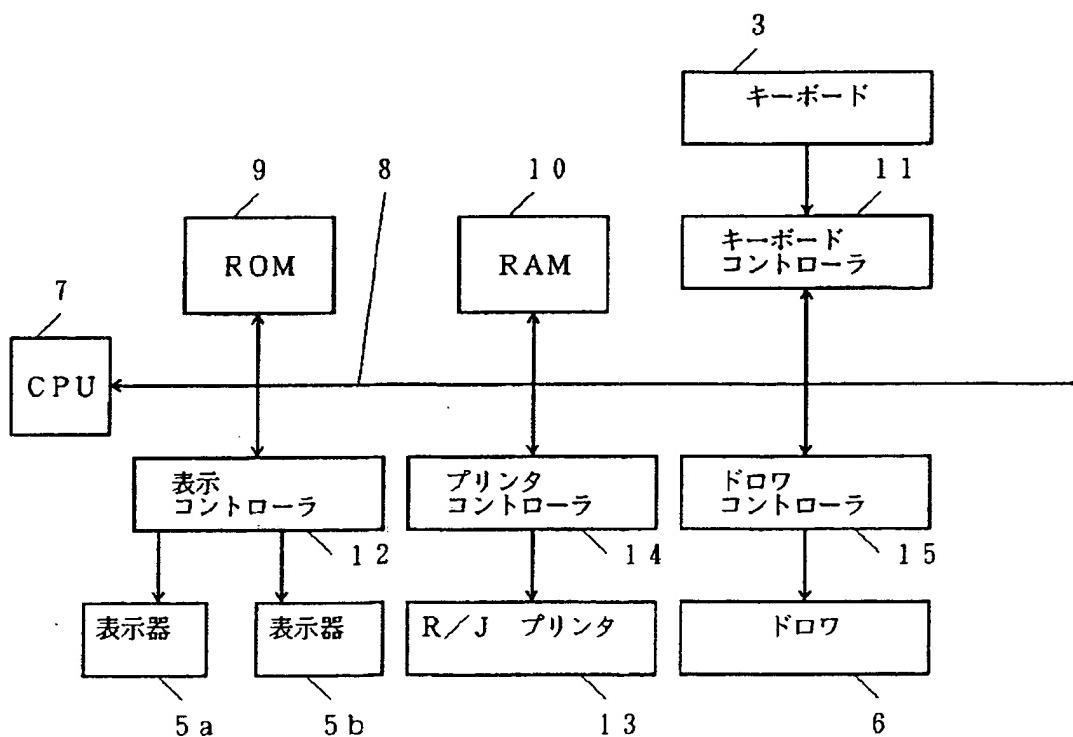
20 格納メモリ

21 累計キー（出力指示手段）

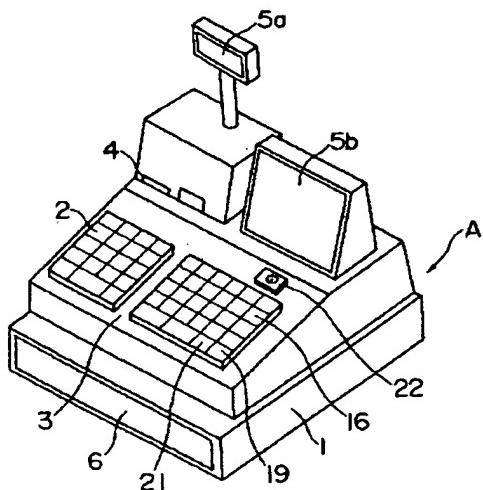
24 募資金額メモリ

S T 7 募資金額累計手段

【図1】



【図2】



【図4】

商品コード	品名	単価	23
00001	食パン	200	
00002	ロールパン	250	
⋮	⋮	⋮	⋮
00100	わりばし	300	
00101	紙コップ	350	
⋮	⋮	⋮	⋮
募資金額メモリ			24
R/Jプリンタメモリ			25
格納メモリ			26

【図7】

OOO スーパー
OO-OO-OO
累計募資金額
¥ 12,457
OO: OO

【図3】

RF	1	2	3	4	5	6	
JF							
X	払	%	+	入J 受			
#	日付	取引	中止	戻			
集計	NO						
クレジット	C	-					
預	7	8	9				
現金	4	5	6				
	1	2	3				
	0	00					
18							
	2						

登録
精算
点検

削引	両替	CPN	入II	払	認証
1	6	11	16	21	26
2	7	12	17	22	27
3	8	13	18	23	28
4	9	14	19	24	29
5	10	15	20	25	30
小計		P L U	累計	募金	
17		21	19	16	

【図6】

OOO スーパー	
OO-OO-OO	
募金	¥ 55
ありがとうございます	
OO: OO	

【図5】

